

「良薬は口に楽し」服薬支援のゼリー付き一包化包装 GTパックの商品の改良とバリエーション紹介

株式会社モリモト医薬

盛本修司

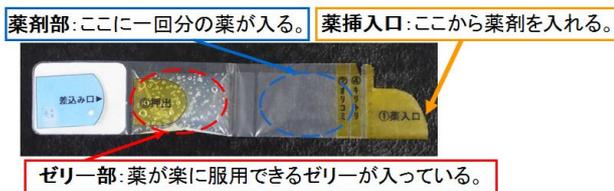
1. はじめに

わが国が抱える超高齢化社会の問題点として、昨今、介護・在宅分野における「薬の飲み残し」があり、服薬コンプライアンス、アドヒアランス向上のための取り組みが積極的に行われている。一般に服薬コンプライアンス率を向上させる方法としては、薬の一包化が最も効果的であると言われているが、現状、一包化率は20～30%である。弊社では、この一包化率を更に促進させる方法として、服薬補助ゼリーパックを用いた一包化包装用のアプリケーションを考案した。これは嚥下機能の低下により服薬が困難になった高齢者や錠剤・カプセルの服用を苦手とする人達向けに開発した服薬補助ゼリーパックを一包化包装に挿入するもので、服薬コンプライアンス向上に寄与することを目的とした一包化包装として紹介する。

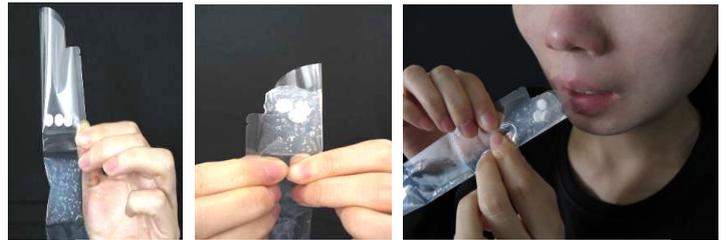
2. GTパックの開発

(1) 「GTパックのコンセプト」

錠剤・カプセルを対象とし、水なしで服用でき、高齢者、幼児、要介護者、嚥下困難者など服薬が困難な方でも簡単に薬を服用できるパッケージ。



(図1) GTパック従来タイプの構造



(図2) GTパック従来タイプの服用手順

(2) 「GTパックの特長」

- ・薬剤は服用直前にゼリーと混合するため安定である。
- ・錠剤を容易に包み、口内・喉内での残留や引っかかりの少ないゼリーを開発 ・携帯性良好。

3. GTパックの改良品「GTパックCタイプ」

GTパックCタイプはゼリー部分だけのシンプルなパッケージであり、これ自体に薬を容れるスペースは無い。そのため、調剤薬局において一包化包装されたパッケージの1辺をカッターで切り開き、GTパックCタイプを挿入し、先に切り開いた1辺を再シールして、ゼリー付き一包化包装が完成する。いわゆる一包化包装のインナータイプゼリーパックである。使用時はパッケージの上から指先でゼリー部を押さえることでGTパックの弱シールが開き、ゼリーが押出されて袋内でゼリーと薬を混ぜ合わせた後、袋を開けゼリーごと服用する。

弊社では、調剤薬局においてこの作業を行う半自動機を現在製作中であり、調剤薬局での服薬補助ゼリー付き一包化包装の提案を行い、服薬コンプライアンス向上に努める。



(図3) GTパック入り一包化包装